



未来遺産

がやがやお散歩マップ
雑司が谷

雑司が谷 歳時記

- 1月 雑司が谷七福神巡り
- 2月 鬼子母神節分会
- 5月 旧宣教師館ガーデンコンサート
- 7月 鬼子母神夏市、鬼子母神盆踊り
- 9月 大鳥神社例大祭
- 10月 御会式
- 11月 大鳥神社西の市
- 12月 除夜祭
- その他 みちくさ市、手創り市

御会式万灯行列

- 10月16日 地元界隈練り歩き
- 10月17日 護国寺コース (清土鬼子母神→鬼子母神堂)
- 10月18日 明治通りコース (池袋東口駅前→鬼子母神堂)



イラスト：鶴丸のどか

雑司が谷 宣教師館 20



明治時代に布教のため来日したアメリカ人宣教師ジョン・ムーディ・マッカーレブにより、明治40年(1907)に自宅兼布教活動の拠点として建てられたもので、区内最古の木造洋風建築

です。木造総二階建て、カーペンターゴシック様式を用い、屋根窓に半円アーチを施して下見板張りの外壁をもつこの建物は、19世紀後半のアメリカ郊外住宅を基調としており、明治時代の我が国における外国人住宅の一つの典型と言えます。また、マッカーレブは、敷地内に雑司が谷教会を建てたほか、布教活動の一環として、雑司ヶ谷学院や雑司ヶ谷幼稚園を開設し、青年たちへの英語教育や幼児教育活動を行いました。しかし、太平洋戦争前夜の昭和16年、在日米大使館の勧告により帰国を余儀なくされました。昭和57年、保存を訴える住民運動に応え区が土地と共に買いあげ、保存修理工事後、一般公開しています。平成4年に区指定文化財、同11年には東京都指定有形文化財に指定されています。

大鳥神社 10

正徳2年(1712)、出雲松江藩主松平出羽守の嫡子が痘瘡にかかって高田村下屋敷で療養中、出雲鷺の浦から鷺大明神が飛来して救ったといわれ、以来ここに勧請したのが始まりと伝えられています。初め社は鬼子母神境内にありましたが、明治初年の神仏分離令により、大鳥神社と改称、現在地を鎮座地として定め、日本武尊を祭神として祀っています。権現造の社殿は、昭和56年に造営されたもの。毎年11月の酉の市には、商売繁盛を願う人々で賑わいます。



恵比寿神

本納寺 11

日蓮宗、妙永山。慶安3年(1650)日相上人により開基されました。境内には、月と花を詠みこんだ狂歌二首が蜀山人の筆で刻まれた月花塚があり、江戸文化が偲べれます。また、雑司が谷の地に長く住み、舞台芸術学院の初代学長を務めた秋田雨雀の墓があります。



疲れたらひと休み!!
Kochi.

雑司ヶ谷 霊園 16



明治5年(1872)神葬墓地として開設され、明治7年に共葬墓地となった都営霊園です。面積約10万㎡の霊園内には、緑豊かな樹々や四季折々の草花が咲き、副都心池袋に隣接する区域とは思

えないほど静かで落ち着いた佇まいを見せています。また、江戸時代、將軍の鷹狩り用の鷹を飼育する御鷹部屋があり、名残の松が今も枝を伸ばしています。当時嵐山と呼ばれていた一帯(現在の目白)が狩り場で、8代將軍吉宗が大イノシを捕えたと言われている。霊園内には、夏目漱石をはじめ、小泉八雲、泉鏡花、永井荷風、島村抱月等の日本文学史にその名を刻む作家たちや、漂流してアメリカに渡ったジョン万次郎、抒情画家竹久夢二、詩人サトウハチロー、自由学園を創設した羽仁もと子・吉一夫妻、言語学者金田一京助、女医第1号の荻野吟子ら著名人が眠っています。また、帝国大学で哲学を教え、漱石にも畏敬されたラファエル・ケーベルの墓は都の文化財に指定されています。大変広いので「としま案内人雑司ヶ谷」のガイドが便利です。

威光稲荷 8



西暦800余年、慈覚大師により堂宇が建立され、威光稲荷大明神を祀ったのが始まりと伝えられます。入口から朱塗りの鳥居が迷路のように続きます。

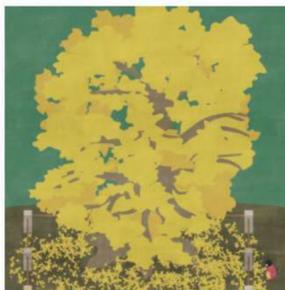
清立院 15

日蓮宗、御嶽山。約770年前、真言宗・清龍寺として創立。後に村を疫病から救った雲水が日蓮聖人像を寺に残したことから、日蓮宗・清立院と改められました。門の石段脇に「かさもり 薬王菩薩安置 清立院」と刻まれた石碑があり、雨乞いと皮膚病の祈願寺として尊崇されました。木彫毘沙門天像は区の文化財に登録されています。



毘沙門天

子授けイチョウとケヤキ並木 4 3



鬼子母神境内の大イチョウは、応永年間に植えられたものと伝えられ、樹齢700年に及ぶ大樹は、子授けイチョウ、子育てイチョウとして親しまれてきました。参道のケヤキ並木は、天正年間に雑

司ヶ谷村の住人長島内匠が奉納したものとされ、樹齢400年を数えます。大イチョウ、ケヤキ並木ともに、東京都の天然記念物に指定されています。往時の参道両側には、茗荷屋、蝶屋、武蔵屋などの料理茶屋が並び、『遊歴雑記』にその繁盛ぶりが記されているほか、歌川広重画「江戸高名会亭早」など浮世絵にも描かれています。

法明寺 7



日蓮宗、威光山。創建弘仁元年(810)、もとは真言宗のお寺でしたが、正和元年(1312)、日蓮聖人の弟子日源上人により改宗、現在の寺号に改められました。江戸時代から「大行院を見逃すと恥のやう」と川柳にも詠われる桜の名所として知られ、『武蔵国雑司ヶ谷八境』のひとつに「威光山(法明寺)花」と記されています。境内には、曲尺、算盤、天秤など度量衡の珍しい図案が彫られた梵鐘や酒井抱一筆の朝顔が描かれた葬(あさがお)塚があり、また墓地には楠正成公息女之墓(姫塚)や豊島氏累代の墓があります。

四面塔尊 27

鬼子母神参道から板橋宿に行く「板橋みち」脇に、享保6年(1721)に建立され、昭和31年(1956)現在地に移りました。辻斬りにあった人々を供養するため正面には「南無妙法蓮華経」のお題目、また、左側面に「南方高田雑司谷道」、右側面には「北の方板橋みち」と刻まれており、道標も兼ねていました。

清土 鬼子母神 25



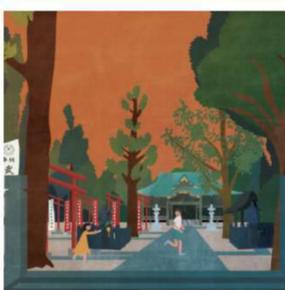
入口門前に「鬼子母尊神出現所」と刻まれた石標があり、永禄4年(1561)、柳下若狭守の下男山本丹右衛門が、清土の田から鬼子母神像を掘り出したと伝えられています。境内には、池水に

星影が不思議な光を宿して尊像の存在を知らせたとされる星跡の清水(三角井戸)や、「此道に出て涼しさよ松の月」と刻まれた芭蕉の句碑「涼月塚」、「安政の名のみ残りでうつし絵の花に香もなく鳥に音もなし」と詠んだ歌碑があります。



吉祥天

鬼子母神堂 4



天正6年(1578)の創建。清土(文京区目白台)から出土した鬼子母神像を祀るため、里人たちが叢林を拓いて堂を建てたのが始まりと言われています。現在の本殿は寛文4年(1664)に、前田

利常の息女で安芸藩主浅野家に嫁した自昌院殿の寄進により建立されたもので、区内最古の建造物で平成28年に国の重要文化財に指定されました。江戸時代前期より、子授け、子育ての神様として庶民の信仰を集めてきました。本堂および鳥山石燕画「大森彦七図」、二代目鳥居清満画「三人静白拍子図」の絵馬は東京都の文化財に指定されています。また、日蓮聖人を供養する「お会式」は、今も毎年10月16日～18日に行われ、枝垂れ桜を模した万灯が夜の街を練り歩きます。

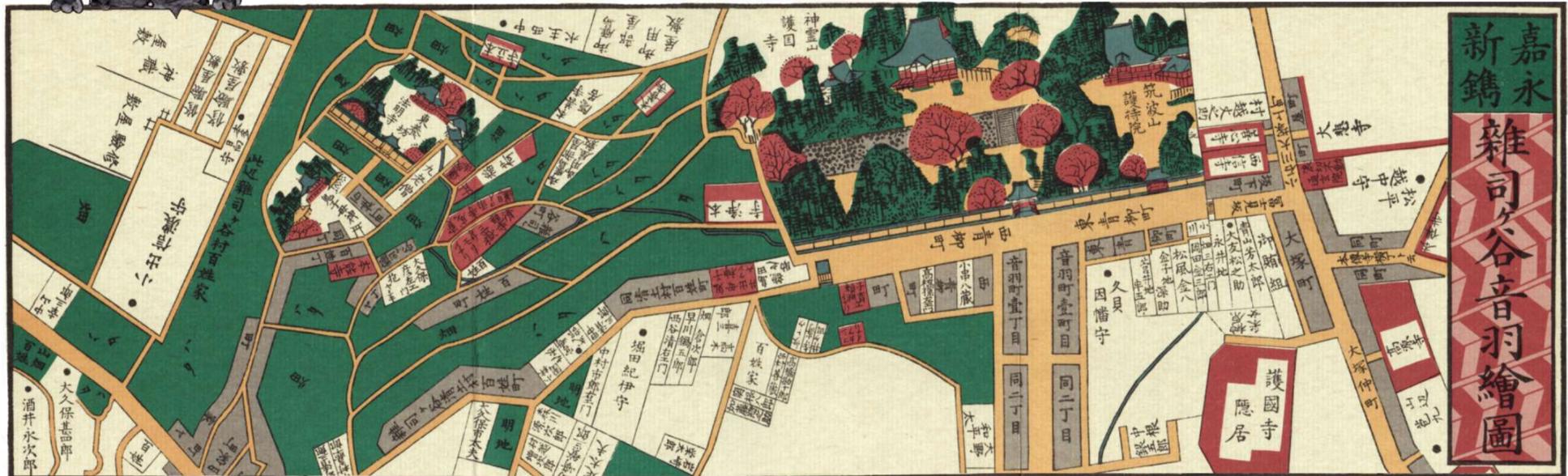


大黒天

本教寺 26

山門を入ってすぐ右に、俳人服部嵐雪、浮世絵師歌川豊春の墓があります。「ふとん着て寝る姿や東山」の句で有名な嵐雪は、其角と並ぶ芭蕉門下の双壁で、辞世の句が刻まれた墓は都の文化財に指定されています。

※●番号は裏面マップ上の位置番号です。



地名の由来

雑司が谷の地名の起源については、①法明寺の雑司料であったため②小日向金剛寺の雑司料であったため③元弘・建武期に京都の朝廷で雑司の職をつとめた柳下氏・長島氏・戸張氏がこの地に土着し、その子孫も村民として残ったから④郡領等身分の高い人の子息の子を指す曹司等のはじめた土地だから等諸説あります。いずれにしても鎌倉時代以後に起こった地名であり、「雑司ヶ谷」に統一されたのは、8代將軍徳川吉宗が放鷹のため立寄った折、「雑司ヶ谷村」と書くべしとしたからと伝えられています。昭和41年の住居表示実施により、現在の「雑司が谷」に町名が変更されました。

旧弦巻川

弦巻川は、池袋の地名の由来と言われる丸池を水源とし、法明寺門前から清立院の方へと流れていた幅4mほどの川で、この川の辺りで源義家が弓の弦を巻き直したという伝説により、弦巻川と呼ばれるようになったと言われています。かつてこの川沿いは、夏は蛍、秋は月と四季を通じての趣を楽しめたところで、江戸時代の雑司ヶ谷周辺名所八カ所に和歌を付した絵巻物『武蔵国雑司ヶ谷八境』にも描かれています。現在は暗渠化されており、大鳥神社境内に、その記念碑が設けられています。

旧鎌倉街道

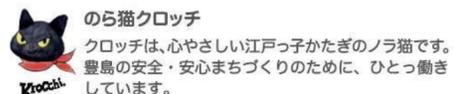
鎌倉時代に幕府鎌倉と諸国の国府とを結んだ道路網で、有事の際に「いざ鎌倉」と御家人が馳せ参じた道として知られています。そのひとつが豊島区内を縦断していたと云われ、おおよそ北区滝野川から明治通り沿いに上池袋に入り、宮仲橋を経て、東池袋・南池袋と南進し、さらに雑司が谷から目白通りを越えて面影橋へと続く道筋にあたります。特に鬼子母神表参道から下る宿坂あたりは、かつての街道の面影が偲べれます。

鬼子母神の参詣土産

江戸時代の鬼子母神参詣土産と言えば、風車、麦わら細工の角兵衛獅子、川口屋の飴、そして今も受け継がれているすすきみみずくがあげられます。「川口の飴は照り降りなしに売れ」「風車持ちの神が売り始め」「木鬼になってぶらぶら枯尾花」など、川柳にも詠われ、当時の風車を持って歩かないと鬼子母神詣ではないと言われるほど流行し、喜多川歌麿画の浮世絵にも風車を髪に挿した参詣客の姿が描かれています。また、角兵衛獅子やすすきみみずくは、貧しい孝行娘が母親の病氣快癒の願掛けに毎夜お参りしたところ、鬼子母神が表れ、そのお告げにより作って売らしたのが評判となり、幸せになったとの逸話が語り継がれています。

雑司が谷 案内処 1

〒171-0032
東京都豊島区雑司が谷3-19-5 並木ハウスアネックス
☎03(6912)5026
10時30分～16時30分(通年)
木曜日休館(祝日の場合は開館)



のら猫クロッチ
クロッチは、心やさしい江戸っ子かたぎのノラ猫です。豊島の安全・安心まちづくりのために、ひとつ働きしています。

散策のご注意

散策の際は自然や文化財を大切に、寺社・施設内での迷惑にならないようご注意ください。

未来遺産 雑司が谷 がやがや お散歩マップ

春は法明寺の桜、夏市に盆踊り、御会式の団扇太鼓の音に鬼子母神の大銀杏と参道ケヤキ並木が色づき、西の市の掛け声に年の瀬を迎え、七福神巡りで新春が明ける…四季折々の営みが今も大切に受け継がれるまち雑司が谷。変わりゆく時代の中で、変わらないものの大切さを思い出させてくれるまち雑司が谷。そんなまちの歴史と文化を100年後の子どもたちに伝えていくための様々な取り組み(すずきみみずく保存会・御会式連合会・七福神の会・としま案内人雑司ヶ谷・鬼子母神大門榎並木保存会・みどりの小道の会等)が、日本ユネスコ協会連盟「未来遺産」に登録されています。



- 旧弦巻川のおおよその川筋
- 旧鎌倉街道のおおよその道筋
- 彼岸花やトケイソウなどの季節の花々の小道

鬼子母神周辺のんびり散歩

約1.3km (約1時間半)

- 1 雑司が谷案内処
- 2 並木ハウス
マンガの神様・手塚治虫がかつて暮らしていたアパート。ここから名作「鉄腕アトム」が生まれた! (住居であり内部には入れません)
- 3 参道ケヤキ並木
- 4 鬼子母神堂
- 6 観静院
法明寺の塔頭として元禄初期に創立されたお寺
- 7 法明寺
- 8 威光稲荷
- 9 豊島ふくろう・みみずく資料館
世界各国の珍しいフクロウ・みみずくコレクションを展示(南池袋小学校内、土・日曜のみ開館)
- 10 大鳥神社
- 11 本納寺

七福神巡り

約2km (約2時間)

- 13 仙行寺 (華福祿寿) *幸福・延命
- 14 中野ビル (布袋尊) *財福・円満
- 6 観静院 (弁財天) *学問・芸術
- 4 鬼子母神堂 (大黒天) *開運・福德
- 10 大鳥神社 (恵比寿神) *招福・繁栄
- 15 清立院 (毘沙門天) *富貴・擁護
- 25 清土鬼子母神 (吉祥天) *安寧・息災

色紙取り扱ひ処

大黒天 吉祥天 華福祿壽
雑司が谷七福神 弁財天 仙行寺
豊島ふくろう 威光稲荷
みみずく 観静院

雑司が谷鬼子母神事務所
10時~16時、無休

雑司が谷案内処
10時30分~16時30分
(通年) 木曜日休館
(祝日の場合は開館)

坂の上の緑と消えた川

約2.5km (約3時間)

- 16 雑司ヶ谷霊園
- 17 御鷹部屋の松
江戸時代に将軍の鷹の飼育所があった当時の名残の松
- 15 清立院

- 18 石橋記念供養塔
かつての弦巻川に架けられていた木村橋の記念碑、享保18年(1733)建立
- 19 御嶽坂
第1回アメニティ形成賞を受賞した緑豊かな坂道
- 20 雑司が谷旧宣教師館
- 21 南坂

- 22 弦巻通り
今は噴渠となっている弦巻川の川筋
- 10 大鳥神社
境内に弦巻川噴渠記念碑がある
- 7 法明寺
- 4 鬼子母神堂
- 3 参道ケヤキ並木
- 1 雑司が谷案内処

古地図片手に歩く

約2.5km (約2時間半)

- 23 鬼子母神表参道
治承4年(1180)源頼朝が源氏の白旗をなびかせ一路鎌倉を目指して南進した旧鎌倉街道の道筋
- 3 参道ケヤキ並木

- 4 鬼子母神堂
子どもを喰らう鬼から改心して子育ての神になった縁起に由来し鬼子母神の鬼の字にはツノがない
- 5 サクラ並木
江戸の花名所威光山の面影を辿る古道
- 19 御嶽坂
- 15 清立院
- 24 本浄寺
江戸絵図と見比べ清立院から本浄寺に続く古道を探索!
- 25 清土鬼子母神